



8 ○ 合 四 四 ○ 四 乙 四 尺 中 工 四 中
お も いや る や え の し お

9 ○ 四 ○ 上 ○ 合 ○ 合 ○ 合 四 上 中
じ お い ず れ の ひ に

10 四 工 中 尺 ○ 中 上 中 合 ○ 上 ○ 四
い か く に い に か え ら ん

11 ○ 合 ○ 四 //

椰子の実

作詞 島崎藤村
作曲 大中寅二

名も知らぬ遠き島より

流れ寄る椰子の実一つ

故郷の岸を離れて

汝はそも波に幾月なれ
いくつき

旧の木は生いや茂れるもと

枝はなお影をやなせる

われもまた渚を枕

孤身の浮寝の旅ぞひとりみ
うきね

実をとりて胸にあつれば

新なり流離の憂いあらた
りゅうり
うれ

海の日沈むを見れば

激り落つ異郷の涙たぎ
いさやう

思いやる八重の汐々やえ
しおじお

いづれの日にか国に帰らん